

令和4年度事業計画

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

一昨年より猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症については、法人としてもできる限りの対策と職員への注意喚起を行い、また、利用者さま・ご家族のご協力のもと感染拡大期には施設（たくま荘・おおはま荘・ケアハウス）での面会制限等も実施し、その結果、入所者・ご家族には直接面会できない苦痛を長期にわたり強いることが幾度もありました。

しかしながら、職員・関係者の努力にもかかわらず、おおはま荘で新型コロナ感染者が判明し、拡大防止対策に追われることになりました。職員が感染し、次いで入所者様が感染する事態となりました。感染経路は別だと推測されていますが、感染が判明すると予想以上の緊張と心配が続くことになり、職員の疲労も並大抵ではありません。

あらためて感染症の怖さを思い知らされました。

さまざまな感染対策を施し、また、職員には体調が普段と違うと感じれば、躊躇なく仕事を休むことを徹底していますが、今や誰もがいつ、どこで感染しても不思議でない状況です。

どのような対策を講じても完全に感染症を予防することはなかなか困難な状況です。

しかしながらひとたび施設内で感染がおこるとクラスターとなり、終息までにかかなりの長期間を要し、かなりの労力と費用をつぎ込まないと終息できない状況です。

この現状を踏まえ、法人として職員とともにより一層注意深く感染予防に努めてまいります。

2. おおはま荘厨房設備の整備について

地域密着型特別養護老人ホーム おおはま荘の厨房設備について業務の効率化を図るため、食器洗浄機及び食器乾燥機を設置する。

おおはま荘はユニット単位で食器の洗浄、乾燥等をしてきたが食器乾燥などは家庭用の食器乾燥機を設置しているため乾燥温度が低く安全性に欠ける点がある。また、食器洗浄についてもユニットごとに食器を管理しているため調理員がユニットごとをめぐって食器の洗浄を行っているため業務効率にかけている。それらを解消するため厨房にて食器の管理を一元化する。

3. 部署別事業計画及び事業目標

特別養護老人ホームたくま荘

- (1) 年間入所率 95%以上、ショートステイ利用率 80%を目標とします。
- (2) 新型コロナウイルス感染症予防に努めます。

地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

- (1) 年間入居率 96%とします。(令和3年12月末実績 95.6%)
- (2) ショートステイの目標利用率を 76%とします。(令和3年12月末実績 73%)

たくま荘デイサービスセンター

- (1) 新型コロナウイルス感染者を出さないように努めます。
- (2) 平均利用人数 1日 25人以上を目標に努力します。

大浜デイサービスセンター

- (1) 快適に過ごしていただく環境作りに努めます。
- (2) 平均利用人数 1日 20人以上を目標に努力します。

ケアハウスたくま

- (1) 感染症の予防に努めます。
- (2) 入居者の確保に努めます。

居宅介護支援事業所たくま荘

- (1) 毎月の利用者数 190人以上を目標とします。

4. 介護職員の能力向上について

介護職員の能力向上を目指して部署ごとに計画した研修計画に基づき本年度は特に感染防止の職場研修を実施する。